

歯・口の健康づくりの評価の観点

(1) 実態や行動の評価

- ア) 歯科疾患の状況に関する評価
 - ・むし歯、歯周病、歯列・咬合、顎関節疾患等の状況
- イ) 歯・口の健康づくりに関する健康によい生活行動の実施状況に関する評価
 - ・食事の摂り方、間食の摂り方、歯みがきの実施状況、歯科医院の受診状況等
- ウ) 口腔清掃状況に関する評価
 - ・歯垢染め出し検査の実施による評価、健康診断時における学校歯科医の評価等
- エ) むし歯や歯周病に関するリスク評価
 - ・生活習慣に関するアンケート等による評価や学校歯科医の指導のもとに実施する唾液や歯垢をつかった試験などによるむし歯や歯周病等のリスク判定

(2) 取組の評価

- ア) 推進体制に関する評価
- イ) 指導計画に関する評価
- ウ) 指導内容に関する評価
- エ) 指導方法に関する評価
- オ) 指導の成果に関する評価
- カ) 環境整備の状況に関する評価

(3) 保健学習の評価

体育科・保健体育科の保健では、それぞれ各学年で取り上げる内容について目標が示されている。したがって、子どもの学習状況については、その目標に照らして実現の状況の評価することになる。その他、関連する教科についても「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能」「知識・理解」の観点で評価することになっている。

(4) 保健指導の評価

歯・口の保健指導の目標としては「自分の歯・口の健康状態について理解させ、歯のみがき方や食生活など歯や口の健康の保持増進について必要な態度や習慣を身に付け、主体的に実践できるようにする」などが考えられる。この目標に照らして評価の観点は次のような項目が考えられる。

【目標】

歯・口の健康によい食生活・食習慣を身につけるようにする

【評価要素】

おやつのとり方

【評価の観点】

- 1 おやつを決められた時間に食べることができたか
- 2 一日に摂る砂糖の量のとり方を考えることができたか
- 3 甘く粘着性のあるおやつなどをだらだら食べるとむし歯になりやすいことが理解できたか

歯科健康診断結果の集計と評価の指標

■ 一人平均DMF歯数 = 全受診者のDMF歯の合計 ÷ 全受診者数

(本)

* 文部科学省の学校保健統計に用いられている

■ むし歯所有者率 (%) = (むし歯所有者 ÷ 全受診者数) × 100

■ 永久歯健全者率 (%) = (DMFが0の人数 ÷ 全受診者数) × 100

■ 歯肉炎所有者率 (%) = (G+GO所有者数 ÷ 全受診者数) × 100

* DMF歯数... 永久歯のむし歯の経験を表わす専門用語のこと。

D... 処置を必要とするむし歯

M... むし歯が原因でなくなった歯

F... むし歯の処置がされている歯

乳歯の場合は“dmf”を用いる。